

JISから引用する箇条の変更（JIS K 0102-1の項目）

改正対象告示（注）													
水	排	土	調	溶	含	地	浸	浄		K 0102:2019 (旧)	K 0102-1 (新)	項目	備考
59	64	46	17	18	19	10	39	55		箇条			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									12	12	pH	
										17	17	化学的酸素消費量(COD)	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									17	17.2	酸性過マンガン酸カリウムによる酸素消費量(COD _{Mn})	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>									21	18	生物化学的酸素消費量 (BOD)	
										32	21	溶存酸素	
<input type="checkbox"/>										32.1	21.2	よう素滴定法	
<input type="checkbox"/>										32.2	21.3	ミラー変法	
<input type="checkbox"/>										32.3	21.4	隔膜電極法	
<input type="checkbox"/>										32.4	21.5	光学式センサ法	
										24	22	ヘキサン抽出物質	
	<input type="checkbox"/>									24.2	22.3	抽出法	
	<input type="checkbox"/>									24.3	22.4	抽出容器による抽出法	
<input type="checkbox"/>										24.4	22.5	捕集濃縮・抽出法	

注：

① 改正対象告示を以下のように示す。

水 59：水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年12月環境庁告示第59号）

排 64：排水基準を定める省令の規定に基づき環境大臣が定める排水基準に係る検定方法（昭和49年9月環境庁告示第64号）

土 46：土壌の汚染に係る環境基準について（平成3年8月環境庁告示第46号）

調 17：地下水に含まれる調査対象物質の量の測定方法を定める件（平成15年3月環境省告示第17号）

溶 18：土壌溶出量調査に係る測定方法を定める件（平成15年3月環境省告示第18号）

含 19：土壌含有量調査に係る測定方法を定める件（平成15年3月環境省告示第19号）

地 10：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月環境庁告示第10号）

浸 39：水質汚濁防止法施行規則第6条の2の規定に基づき環境大臣が定める検定方法（平成元年8月環境庁告示第39号）

浄 55：水質汚濁防止法施行規則第9条の4の規定に基づき環境大臣が定める測定方法（平成8年9月環境庁告示第55号）

② 対象告示の列に「○」がある告示に対して、箇条に記載の番号変更に関する改正が行われます。

JISから引用する箇条の変更 (JIS K 0102-2の項目)

水	排	土	調	溶	含	地	浸	浄	K 0102:2019 (旧)	K 0102-2 (新)	項目	備考
59	64	46	17	18	19	10	39	55	箇条			
									34	5	ふつ素化合物	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.1.1	5.2.2	前処理(水蒸気蒸留法) 500 mLの蒸留フラスコを用いる方法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.備考1.	5.2.3	前処理(水蒸気蒸留法) 小型蒸留装置を用いる方法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.1.2	5.3	ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.4	5.4	流れ分析法(ランタン-アリザリンコンプレキソン発色)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	34.3	5.5	イオンクロマトグラフィー	
	○							○	34.2	5.6	イオン電極測定方法	
									38	9	シアン化合物	
									38.1.1	9.2	シアン化物	
									38.1.1.1	9.2.2	通気法(pH 5.0で発生するシアン化水素)	
									38.1.1.2	9.2.3	蒸留法(pH 5.5で酢酸亜鉛の存在下で発生するシアン化水素)	
									38.1.2	9.3	全シアン	
○	○	○	○	○		○	○	○	38.1.2	9.3.2	500 mLの蒸留フラスコを用いる方法 (pH2以下で発生するシアン化水素)	
○	○	○	○	○		○	○	○	38.1.2 備考11.	9.3.3	小型蒸留装置を用いる方法(pH2以下で発生するシアン化水素)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	38.2	9.4	ピリジン-ピラゾロン吸光光度分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	38.3	9.5	4-ピリジカルボン酸-ピラゾロン吸光光度分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	38.5	9.6	流れ分析法(4-ピリジカルボン酸-ピラゾロン発色)	
		○		○	○				38.4	9.7	イオン電極測定方法	
									42	13	アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	
	○							○	42.1	13.2.2	500 mLの蒸留フラスコを用いる方法	
									42.備考2.	13.2.3	200 mLの蒸留フラスコを用いる方法	
	○							○	42.備考3.	13.2.4	小型蒸留装置を用いる方法	
	○							○	42.3	13.3	中和滴定法	
	○							○	42.2	13.4	インドフェノール青吸光光度分析法	
	○							○	42.7	13.5	サリチル酸-インドフェノール青吸光光度分析法	
	○							○	42.6	13.6	流れ分析法(インドフェノール青発色)	
	○							○	42.5	13.7	イオンクロマトグラフィー	
									42.4	13.8	イオン電極測定方法	
									43.1	14	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	
○	○					○	○	○	43.1.1	14.2	ナフチルエチレンジアミン吸光光度分析法	
○	○					○	○	○	43.1.3	14.3	流れ分析法(ナフチルエチレンジアミン発色)	
○	○					○	○	○	43.1.2	14.4	イオンクロマトグラフィー	
									43.2	15	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	
									43.2.2	15.2	還元蒸留-中和滴定法	
○	○					○		○	43.2.1	15.3	還元蒸留-インドフェノール青吸光光度分析法	
○	○					○		○	—	15.4	還元蒸留-サリチル酸-インドフェノール青吸光光度分析法	
									43.2.4	15.5	ブルシン吸光光度分析法	
○	○					○		○	43.2.3	15.6	銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン吸光光度分析法	
○	○					○	○	○	43.2.6	15.7	流れ分析法(銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン発色)	
○	○					○	○	○	43.2.5	15.8	イオンクロマトグラフィー	
									45	17	全窒素	
	○								45.1	17.2	総和法	
○	○								45.2	17.3	酸化分解-紫外線吸光光度分析法	
○									45.4	17.4	酸化分解-銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン吸光光度分析法	
○	○								45.6	17.5	流れ分析法(酸化分解-紫外線吸光又は銅・カドミウムカラム還元-ナフチルエチレンジアミン発色)	
									45.5	17.6	熱分解全窒素分析法	
									45.3	—	硫酸ヒドラジニウム還元法	
									46	18	りん化合物及び全りん	
									46.1	18.2	りん酸イオン(PO ₄ ³⁻)	
									46.1.1	18.2.1	モリブデン青吸光光度分析法	
									46.1.4	18.2.2	流れ分析法(モリブデン青発色)	
									46.1.3	18.2.3	イオンクロマトグラフィー	
									46.2	18.3	加水分解性りん	
									46.2	18.3.1	モリブデン青吸光光度分析法	
									—	18.3.2	流れ分析法(モリブデン青発色)	
									46.3	18.4	全りん	
○	○								46.3.1	18.4.1	ペルオキシ二硫酸カリウム分解法	
○	○								46.3.2	18.4.2	硝酸-過塩素酸分解法	
○	○								46.3.3	18.4.3	硝酸-硫酸分解法	
○	○								46.3.1	18.4.4	モリブデン青吸光光度分析法	
○	○								46.3.1.3	18.4.5	モリブデン青吸光光度分析法(溶媒抽出法)	
○	○								46.3.4	18.4.6	流れ分析法(酸化分解-モリブデン青発色)	

JISから引用する箇条の変更 (JIS K 0102-3の項目)

水	排	土	調	溶	含	地	浸	浄	K 0102:2019 (旧)	K 0102-3 (新)	項目	備考
59	64	46	17	18	19	10	39	55	箇条			
									3.3	4.1.9.3	試料の保存処理	
									47	5	ほう素(B)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	47.1	5.2	メチレンブルー吸光光度分析法	
	○							○	47.2	5.3	アゾメチンH吸光光度分析法	
									—	5.4	流れ分析法(アゾメチンH吸光光度分析法)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	47.3	5.5	ICP発光分光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	47.4	5.6	ICP質量分析法	
									52	11	銅(Cu)	
									52.1	11.2	ジエチルジチオカルバミド酸吸光光度分析法	
	○								52.2	11.3	フリューム原子吸光分析法	
	○								52.3	11.4	電気加熱原子吸光分析法	
	○								52.4	11.5	ICP発光分光分析法	
	○								52.5	11.6	ICP質量分析法	
									53	12	亜鉛(Zn)	
○	○								53.1	12.2	フリューム原子吸光分析法	
○	○								53.2	12.3	電気加熱原子吸光分析法	
○	○								53.3	12.4	ICP発光分光分析法	
○	○								53.4	12.5	ICP質量分析法	
									54	13	鉛(Pb)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	54.1	13.2	フリューム原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	54.2	13.3	電気加熱原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	54.3	13.4	ICP発光分光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	54.4	13.5	ICP質量分析法	
									55	14	カドミウム(Cd)	
	○				○			○	55.1	14.2	フリューム原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	55.2	14.3	電気加熱原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	55.3	14.4	ICP発光分光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	55.4	14.5	ICP質量分析法	
									56	15	マンガン(Mn)	
	○								56.2	15.2	フリューム原子吸光分析法	
	○								56.3	15.3	電気加熱原子吸光分析法	
	○								56.4	15.4	ICP発光分光分析法	
	○								56.5	15.5	ICP質量分析法	
									57	16	鉄(Fe)	
									57.1	16.2	フェナントリン吸光光度分析法	
	○								57.2	16.3	フリューム原子吸光分析法	
	○								57.3	16.4	電気加熱原子吸光分析法	
	○								57.4	16.5	ICP発光分光分析法	
									—	16.6	ICP質量分析法	付表で定める
									61	20	ヒ素(As)	
	○	○		○	○			○	61.1	20.2	ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	61.2	20.3	水素化物発生原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	61.3	20.4	水素化物発生ICP発光分光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	61.4	20.5	ICP質量分析法	
									65	24	クロム(Cr)	
									65.1	24.2	全クロム	
	○							○	65.1.1	24.2.1	ジフェニルカルバジド吸光光度分析法	
	○								65.1.2	24.2.2	フリューム原子吸光分析法	
	○							○	65.1.3	24.2.3	電気加熱原子吸光分析法	
	○							○	65.1.4	24.2.4	ICP発光分光分析法	
	○							○	65.1.5	24.2.5	ICP質量分析法	
									65.2	24.3	クロム(VI) [Cr(VI)]	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	65.2.1	24.3.1	ジフェニルカルバジド吸光光度分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	65.2.6	24.3.2	流れ分析法(ジフェニルカルバジド吸光光度分析法)	
		○	○	○	○				65.2.2	24.3.3	フリューム原子吸光分析法	
○		○	○	○	○			○	65.2.3	24.3.4	電気加熱原子吸光分析法	
○		○	○	○	○			○	65.2.4	24.3.5	ICP発光分光分析法	
○		○	○	○	○			○	65.2.5	24.3.6	ICP質量分析法	
									65.2.7	24.3.7	液体クロマトグラフィー-ICP質量分析法	
									66	25	水銀(Hg)	
									66.1	25.2	全水銀	付表で定める
									66.1.1	25.2.1	還元気化原子吸光分析法	
									66.1.2	25.2.2	加熱気化原子吸光分析法	
									66.1.3	25.2.3	加熱気化一金アマルガム捕集原子吸光分析法	
									67	26	セレン(Se)	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	67.2	26.2	水素化物発生原子吸光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	67.3	26.3	水素化物発生ICP発光分光分析法	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	67.4	26.4	ICP質量分析法	

JISから引用する箇条の変更 (JIS K 0102-3の項目)

水	排	土	調	溶	含	地	浸	浄	K 0102:2019 (旧)	K 0102-3 (新)	項目	備考
59	64	46	17	18	19	10	39	55	箇条			
									附属書1のXVI.	附属書K (参考)	薄層クロマトグラフ分離一原子吸光分析法によるアルキル水銀の定量方法	
									67.1	附属書L (参考)	3,3,-ジアミノベンジジン吸光光度分析法によるセレン(Se)の定量方法	

JISから引用する箇条の変更 (JIS K 0102-4の項目)

水	排	土	調	溶	含	地	浸	浄	K 0102:2019 (旧)	K 0102-4 (新)	項目	備考	
59	64	46	17	18	19	10	39	55	箇条				
									28	5	フェノール類及びp-クレゾール類		
									28.1	5.2	フェノール類		
	○								28.1.1	5.2.2.2	大型の蒸留フラスコを用いる方法		
									28.備考2.	5.2.2.3	小型の蒸留フラスコを用いる方法		
	○								28.備考3.	5.2.2.4	小型蒸留装置を用いる方法		
	○								28.1.2	5.2.3	4-アミノアンチピリン吸光光度分析法		
	○								28.1.3	5.2.4	流れ分析法(4-アミノアンチピリン発色)		
									30	6	界面活性剤		
									30.1	6.2	陰イオン界面活性剤		
									30.1.1	6.2.1	メチレンブルー吸光光度分析法		
									30.1.2	6.2.2	エチルバイオレット吸光光度分析法		
									30.1.3	6.2.3	溶媒抽出-フリューム原子吸光分析法		
									30.1.4	6.2.4	流れ分析法(メチレンブルー発色)		
	○								—	6.2.5	高速液体クロマトグラフィー質量分析法 (直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)		
									31	7	農薬		
									31.1	7.2	有機りん農薬(パラチオン、メチルパラチオン、EPN) ※7.2.3、7.2.4にはメチルジメトンも規定されている		
	○	○	○	○				○	○	31.1.1	7.2.1	溶媒抽出	
	○	○	○	○				○	○	31.1.1	7.2.2.2	カラムクロマトグラフ分離(二酸化けい素・けい藻土カラム)	
	○	○	○	○				○	○	—	7.2.2.3	カラムクロマトグラフ分離(フロリジルカラム)	
	○	○	○	○				○	○	31.1.2	7.2.3	ガスクロマトグラフィー	
									—	7.2.4	ガスクロマトグラフィー質量分析法		
	○	○		○					31.1.3	7.2.5	ナフチルエチレンジアミン吸光光度分析法(アベレル-ノリス法)		
	○	○		○					31.1.4	7.2.6	p-ニトロフェノール吸光光度分析法		
									31.備考1.	附属書C (参考)	薄層クロマトグラフによる有機りん農薬の分離方法		
									—	附属書D (参考)	モリブデン青吸光光度分析法によるメチルジメトンの定量		

JISから引用する箇条の変更（その他の告示）

- 特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法施行規則第五条第二項の規定に基づく環境大臣が定める検定方法（平成7年6月16日環境庁告示30号）

別表 トリハロメタン生成能の検定方法

「日本工業規格K0102の三十三・一又は三十三・二」を「日本産業規格K0102-1の二十三・二又は二十三・四」に変更する。

「日本工業規格K0101の二十八の備考十一」を「日本産業規格K0102-1の二十三・七」に変更する。

- 特定悪臭物質の測定の方法（昭和47年5月30日環境庁告示9号）

別表第1 アンモニアの測定方法

「日本工業規格K0102の36の注3」を「日本産業規格K0102-2の7.2.2.C」に変更する。

- 臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法（平成7年9月13日環境庁告示63号）

別表 臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法

「日本工業規格K0102に定める装置又はこれと同等以上の性能を有するもの」を「日本産業規格K0102-1に定める装置又はこれと同等以上の性能を有するもの」に変更する。